

一般質問通告書

平成26年12月定例会

1番 下瀬俊夫 議員

1 白井市長の政治姿勢を問う。

1 1月1日号の市広報に掲載された市長コラムについて問う。

2 白井市政の行政手法について問う。

最近の白井市政は「市民が主役」「市民が主権者」と口では言うが、学校給食や新火葬場建設に向けて設置された「検討委員会」等を見ても、古い従来型の行政主導で進める審議会方式とどこが違うのか。

3 人口定住増に向けての子育て支援策について問う。

人口定住増に向けて、子育て支援策はどのように位置づけられているのか。

4 まちの景観と街路樹管理のあり方を問う。

せっかく紅葉し始めた街路樹が剪定されている。何のための街路樹なのか。市民の間には「市の文化水準の低さ」を問題にする発言さえある。まちの景観と街路樹管理のあり方を聞く。

2番 杉本保喜 議員

1 JR小野田駅周辺地区の整備計画の状況を問う。

(1) 3月議会の一般質問のその後の進捗状況はどうか。

(2) 地元自治会等への説明等は、いつやるのか。

(3) 買い取り方式の導入はあるのか。

(4) 駅前の街灯の更新はどうなっているのか。

2 防災体制の改善について問う。

(1) 市防災訓練の成果と改善点を知らされたい。

(2) 防災ラジオの配布が休止中であるが、今後の方針はどうか。

(3) 避難所マップの改善は、いつ市民に提示できるのか。

(4) 福祉避難所の運用は、どのように考えているのか。

(5) 市民が主体で実施している防災訓練をどのように分析しているのか。

3 定住自立圏構想において山陽小野田市の対応を聞く。

総務省地域力創造グループ地域自立応援課から各都道府県市町村担当課あてに事務連絡（平成22年4月30日）が出され、長門市、萩市、下関

市が形成を完了している。山陽小野田市は、この制度をどのように捉え、対応するのか。

3 番 中 島 好 人 議員

1 地域経済の活性化について

- (1) 市長は、地域経済活性化についてどのように考えているか。
- (2) 「小規模企業振興基本法」に基づく当市の対応について
- (3) 当市の「中小企業振興条例」策定について

2 生活保護問題について

- (1) 「生活困窮者自立支援法」への当市の対応について
- (2) 市営住宅入居時における保証人の免除について

3 「子どもの貧困」対策について

「子どもの貧困対策推進法」に基づく当市の対応について

4 番 矢 田 松 夫 議員

1 市長の言動について

- (1) 市広報「市長から市民のみなさんへ」等、市民が期待する紙面にすべきではないか。
- (2) 市長交際費の使途について問う。

2 特別支援教育の充実について

- (1) 支援学級の現状を改善する方針はないのか。
- (2) 通級指導教室の現状を改善する方針はないのか。

5 番 長谷川 知 司 議員

1 学校給食センター化について

- (1) 5,500食の根拠とその必要性を聞く。
- (2) 将来の児童生徒数の減少について、どう考えているのか。今後6年間の推移、そして10年、20年先の減少動向と現計画食数との乖離があれば、そのことをどう考えているのかを聞く。
- (3) 正規調理職員の今後の減少に対し、調理責任は取れるのか。業務の民営化は必要ないのか。

2 火葬場の建設計画について

建設費用は、宇部市と共同で設置した場合の費用を超えないことと市長は言うが、その意図を聞く。

3 市南部地域の交流人口拡大の施策について

- (1) C．C．Z地域（竜王山オートキャンプ場、きらら交流館、ガラス未

来館)、竜王山、本山岬そして山口東京理科大学を含む市の南部地域は、交流人口拡大のための大事な宝と考えるが、最初にこれら施設の各々の活用計画を聞く。

(2) 交流人口拡大を図る手段として、市はこれらの連携または一体活用及び市外からの交流動線や滞在方法をどのように考え、実践しているのかを聞く。

(3) 将来、計画では何人の交流人口を考えているのか。そしてそのために必要となる年次的な施策計画を聞く。

4 公共施設の休館日について

公共施設の休館日を、利用する市民側に立って再考をする必要の有無を聞く。また同様の施設（労働会館と青年の家、両勤労青少年ホーム、各公民館など）で、休館日や開館時間が異なっている場合、調整の方針とその調整状況を聞く。

5 水道局の行政改革について

今後も施設の維持改修等で多額な工事計画があるが、主な行政改革の具体的な方針と事例を聞く。

6番 石田清廉議員

1 合併後10年、本市のまちづくりに何をもたらしたのか。

市町村合併は、豊かな高齢社会を迎えるための社会福祉など、市民に身近な行政サービスの向上、地域の一体的な整備、行財政基盤の強化などを図るために有効かつ適切な方策である。合併後10年、地域にどのような変化をもたらしたのか。また残された課題は何か。将来展望はどのようなものか。合併についての包括的な検証が必要であり、現状をしっかりと把握することが重要である。

(1) 合併によるプラス効果はどのようなものか。

ア 行財政の効率化による財政支出の削減効果はあったのか。

イ 市職員のスキルアップに繋がり、行政サービスの高度化、多様化に対応できているか。

ウ 広域的な観点に立ったまちづくり施策の取組はできたのか。

(2) 合併による課題はどのようなものか。

ア 行政と市民相互の連帯の弱まりや行政サービス水準が低下していないか。

イ 周辺地域の衰退、過疎化が進行しているようなことはないか。

ウ 各地域の歴史、文化、伝統などが失われているようなことはないか。

(3) 合併による財政運営への影響はあったのか。

- ア 財政計画と現状との乖離の要因は何か。
- イ 財政健全化の見直し(10年間の目標)計画の現状と今後の見通しについてはどうか。

7番 河野 朋子 議員

1 若者交流推進事業について

(1) 事業の現状について

- ア 事業の実施状況とその成果はどうか。
- イ 企画から実施までの体制はどのようなになっているのか。

(2) 今後の課題について

- ア 問題点としてはどのようなことが挙げられるか。
- イ 一般会計予算決算常任委員会が行った事業評価をどのようにとらえているのか。

2 平日夜間診療所について

(1) 事業の現状について

- ア 平成22年に診療所が開設されたが、その目的は何か。
- イ これまでの利用状況はどうか。
- ウ 市の財政負担はどうか。

(2) 今後の方針について

- ア 事業の継続にあたって課題は何か。
- イ 関係機関との協議は考えているのか。

8番 山田 伸幸 議員

1 国民健康保険の資格証明書の運用について

資格証明書の発行要件と対象者への対応について

2 「改定」介護保険制度の問題点と山陽小野田市の取組について

保険給付外しと山陽小野田市での対応方針

3 持続可能な介護体制について

「ボランティアポイント制度」の発展について

4 人口定住策について

先進自治体の例に学ぶことについて

5 公園通り周辺の渋滞及び抜け道対策について

湾岸有帆大橋開通を前にして、公園通り周辺の交通問題への市の取組方と住民が安心できる具体策について

9番 笹木 慶之 議員

1 行政組織の適正管理と運営について

- (1) 定員適正化計画に基づき、期待される合併効果に加え社会情勢の変化に対応するため、最小の経費でより質の高い市民サービスが提供できるスリムで効果的な組織を目指し取り組まれたが、その現状と課題・今後の方針について伺う。
- (2) 人材育成の取組と現状の把握はどのようにされているか。課題と今後の取組について伺う。
- (3) 次世代支援育成対策の取組の成果と今後の方針について伺う。

2 野生鳥獣の被害防止策について

野生動物による被害の深刻さは、益々厳しさを増している。鳥獣被害防止特措法によって行政の被害対策支援が強化され、鳥獣保護法も今年改正された。このような背景を踏まえ、本市の実態とその取組について伺う。

10番 中村博行 議員

1 防災について

- (1) 自主防災組織・地域セーフティネットの活動状況は把握されているか。
- (2) 東下津地区の内水排除について、計画の進捗状況はどうか。
- (3) 排水機場の長寿命化計画は怎么样了。

2 空き家について

- (1) 条例施行からその効果と適用の状況はどうか。
- (2) 空き家の活用について、検討プロジェクトの協議状況はどうか。
- (3) 空き家のリフォームなど、建設業者との連携について考えてみてはどうか。

3 住宅政策について

- (1) 老朽化した市営住宅の更新、新設の計画はないか。
- (2) 厚陽や埴生地区の活性化、人口流入に民間の力を活用した住宅建設計画は考えられないか。

4 厚陽小中学校の将来像について

- (1) 児童・生徒数の確保に校区再編を考える時期に来ていると思うがどうか。
- (2) 厚陽小中学校の将来ビジョンをどのように考えているか。

11番 岩本信子 議員

1 DV防止について

- (1) 当市の取組状況はどうか。
- (2) 相談体制はどうか。

- (3) ケア体制はどうか。
- (4) DV防止の啓発はどうしているのか。

1 2 番 岡 山 明 議員

- 1 高齢化に伴う生活支援について
 - (1) 国民年金、国民健康保険未納者の現状はどうか。
 - (2) 高齢者の働ける環境整備はどうか。
- 2 子育て支援について
 - (1) おむつ支援について
 - (2) おむつ専用袋について

1 3 番 伊 藤 實 議員

- 1 レノファ山口への支援について
市長のレノファ山口への具体的な支援策を問う。
- 2 教育委員会と保護者との連携について
様々な教育行政の課題について保護者の意見、要望を聞くことは必要不可欠だが、現状はどうか。そして、その意見、要望をどのように反映しているか。
- 3 地方創生について
人口減少対策、出産や育児をしやすい環境整備、当市での雇用創出に向けた戦略はあるのか。
- 4 広報の市長の一行詩について
「議員は夢を語り、市長は財布をのぞいてため息つく」の真意は。

1 4 番 吉 永 美 子 議員

- 1 高齢者の生きがいづくりについて
高齢者が生きがいを持って生活でき、また介護予防への効果も期待できる施策として、様々な分野におけるベテランを「市の匠」として認定、活用する事業を実施する考えはないか。
- 2 定住促進について
総合計画基本計画改訂版に掲げる定住促進について聞く。
 - (1) 「転入者の定住促進」の取組として、空き家バンク制度の検討状況を聞く。
 - (2) 「若者の定住促進」について、子育て支援の充実として、総合子育て支援センターを設置する考えはないか。
 - (3) 「婚活支援事業の推進」について、現状と今後の予定を聞く。

3 マスコットキャラクターの活用について

本市のマスコットキャラクターである「ねたろう君」の活用について、着ぐるみを含め今後の予定を聞く。